



①様々な文化体験と交流。コミュニケーションはすべて英語で行います。②授業では先生とのコミュニケーションやペアワークを中心に、会話や表現の練習を行いました。③緑豊かできれいなキャンパス。広大なキャンパスの中には線路が走っています。

KOMORO City English Program
held at HOPE COLLEGE in Holland, Michigan

中学生海外文化・語学学習事業

アメリカ HOPE COLLEGE を訪問して

7月27日～8月7日までの12日間、小諸市の中学生8名がアメリカの大学HOPE COLLEGE（ホープカレッジ）を訪問し、語学・文化学習プログラムに参加しました。現地での滞在期間10日間の一部をご紹介します。

英語授業や文化体験、2泊3日のホームステイまで、滞在中に行われるすべての活動がHOPE COLLEGE側で計画され、多くのことを体験できる濃密な時間でした。語学学習としてプログラムのすべてが英語で行われるほか、道を尋ねるなど積極的に交流の機会を持っていました。文化体験では、ミシガン湖のビーチでの湖水浴やオランダ村の訪問などを行いました。一人ひとりが英語を肌で感じ、大きな成果を得て無事帰国しました。

壁新聞を掲示します

参加者8名がこの学習事業を通して体験したことや学んだこと、感じたことなどを模造紙にまとめた壁新聞を掲示します。現地での様子がわかりますので、来年度以降に事業に参加希望の人は、ぜひご覧ください。

[掲 示 期 間] 11/1 (木) ～ 11/30 (金)

[場 所] 市役所1階 展示情報コーナー



HOPE COLLEGE と小諸市

アメリカのミシガン州にあるホランドという比較的小さな市、そこにあるのがHOPE COLLEGEです。ここでは、小諸市と連携協定を結んでいる明治学院大学の協定校であり、またかつて小諸義塾を創設した木村熊二は、この大学の卒業生でした。そういった縁から、小諸市の生徒のためにこのプログラムを行っていたであり、派遣は今年で6年目となりました。大学内には、日本人初の卒業生として木村熊二の肖像画も飾られています。